

小型充電式電池・モバイルバッテリーの排出

小型充電式電池やモバイルバッテリーをごみや資源の収集に出すと、ごみ収集車や工場で火災が起きる原因となりま



このマークがついた電池などが目印です。ごみや資源に出さずに、お近くの回収拠点(電気店など)にお持ち込みください。回収拠点は一般

社団法人JBR Cのホームページで検索できます。ごみはそれぞれが責任を持ってルールを守って処理し、ごみ減量・リサイクルの推進に努めましょう。

▼問合せ 住民課環境保全グループ
☎ 28・0916

野焼き禁止

家庭から出るごみや草・木等を燃やすことは、次の例外を除いて禁止されています。

- ・どんと焼き等の風俗慣習上又は宗教上の行事を行うために必要な場合
- ・農業、林業等を営むためにやむを得

ないものとして行う場合
・学校教育又は社会教育活動に必要なものとして行われる場合など

なお、これらの場合でも、煙や灰の飛散等、近隣の方の迷惑にならないように注意してください。

▼問合せ 住民課環境保全グループ
☎ 28・0916

生ごみの臭い対策

生ごみの臭いは「腐敗」が原因で発生します。腐敗は「水分」と「高い気温」で進むため、水切りと温度対策が効果的です。

また、生ごみは可燃ごみの約3割を占めると言われています。水切りをするごみの減量にもつながります。

家庭でする生ごみの臭い対策

○水切りネットなどを使って、捨てる前に水をよく絞る。

○新聞紙などの上に置き、水分を乾かす。エアコンの室外機の風に当てるのも効果的です。

○濡らさずに調理できる食材(たまねぎの皮、きのこのへた、かぼちゃのわたなど)は、なるべく濡らさない。

○新聞紙やチラシに包み、ビニールに入れ冷凍する。魚の内臓など、腐りやすい生ごみに特に効果的です。

○重曹を直接ふりかけることで、水分が吸着されます。

○お茶やコーヒーの出しガラを乾燥させて生ごみに混ぜると、臭いが軽減します。

▼問合せ 住民課環境保全グループ
☎ 28・0916

夏の交通安全県民運動

夏本番を迎え、行楽などで自動車を運転する機会が増えるほか、暑さやレジャーの疲れから運転者の注意力が散漫になりがちです。また、通勤・通学や配達を目的とする自転車利用のニーズが高まっているほか、屋外で遊ぶこともたちや夕涼みなどで外出する高齢者も増えるため、交通事故の発生が心配されます。

さらに、夏特有の解放感から飲酒の機会も増え、飲酒運転による交通事故の発生も懸念されます。

県民1人ひとりが交通安全意識を高め、交通事故の防止に努めましょう。

▼期間 7月11日(火)から20日(木)までの10日間

▼運動重点

- ・こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保と保護意識の醸成
- ・運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶
- ・自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

▼問合せ先 県防災安全局県民安全課

☎ 052・954・6177

消費者トラブル情報 投資用不動産被害にご注意

昨年から、県内で投資用マンションや投資用不動産の強引な勧誘による被害相談が増加しています。

○路上のキャッチセールスでアンケートなどを求めて個人情報聞き出し、深夜まで勧誘して契約を迫るもの

○マッチングアプリで知り合った相手方に、恋愛感情を絡ませて勧誘をするもの

○宅建業者以外の者が自宅に押し掛けてしつこく勧誘を行い、宅建業者の事務所に来て行って契約を迫るもの等

悪質な営業マンにだまされないよう、こついった手口を知り、うまい話をされても簡単に個人情報を伝えないよう注意してください。

不審に思ったり、トラブルにあった場合は、消費生活相談窓口早めに相談しましょう。

▼問合せ 県消費生活総合センター
☎ 052・962・0999、消費者ホットライン ☎(局番なし)

1888